

ります。そして三菱は、2010年4月から、個人向けにも販売を行うと発表し、注目を09年7月から受け付けはじめました。最新のリチウムイオンバッテリーを搭載した電気自動車が、いよいよ本格的に街を走り出すことになるのです。

日産、トヨタも、開発を促進

日産も、2010年に発売を始める小型電気自動車を、09年8月の本社移転(東銀座から横浜へ)を機会に発表しました。そして、日米での発売後、12年には世界での販売を目指し、年間15万台規模の生産体制を敷くと、カルロス・ゴーン社長は語っています。

トヨタは、まだ正式な電気自動車発売の

■ 三菱「i-MiEV」



発表はしていませんが、08年の環境フォーラムで、小型電気自動車の開発を加速中であると発表しました。そして、電気自動車と同様のリチウムイオンバッテリーを採用した、プラグイン・ハイブリッドカーの法人向けリースを09年末以降に開始します。

大手だけではない電気自動車開発

電気自動車開発の動きは、大手自動車メーカーだけではなくとどまりません。

NPOなどさまざまな団体、電気自動車愛好家たちによるエンジン自動車から電気自動車へ改造し、ナンバーを取得して公道を走る動きから、同じようにエンジン自動車を電気自動車に改造して市販しようというベンチャー企業も動きはじめています。あるいは、海外の電気自動車を日本に輸入して販売しようという企業も現れました。また、慶応大学では、電気自動車(エリーカ)を開発して速度記録に挑戦するといった活動も行われています。

とくに米国では、ベンチャー企業の動きが活発で、テスラ、ACプロパルジョン、ZAPといったカリフォルニア州の企業が積極的に電気自動車開発を行い、それらは大手自動車メーカーと提携し、自動車メーカーの代行として電気駆動部品の開発と供給もはじ